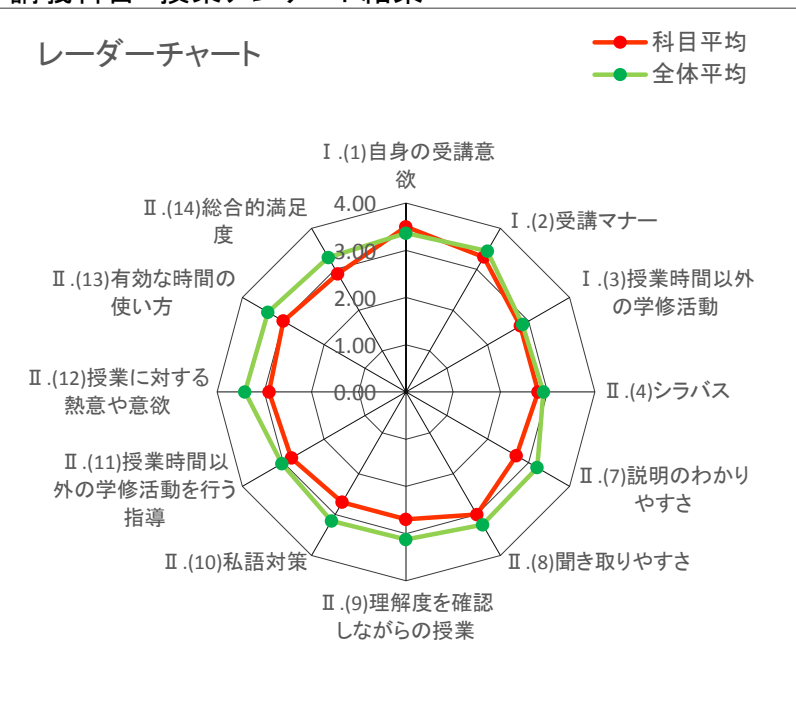
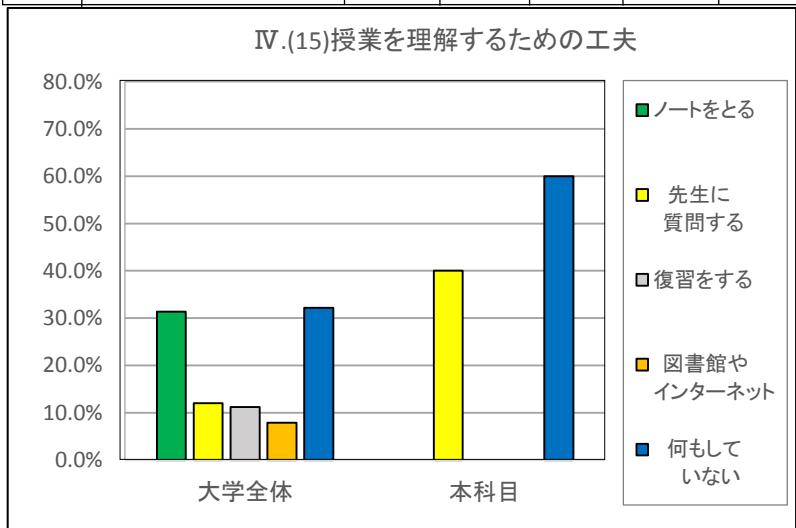


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	60.0%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.50	3.36
	I.(2)	3.30	3.45
	I.(3)	2.80	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.80	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.70	3.21
	II.(8)	3.00	3.25
	II.(9)	2.70	3.13
	II.(10)	2.70	3.16
	II.(11)	2.80	3.04
	II.(12)	2.90	3.41
	II.(13)	3.00	3.37
	満足度	II.(14)	2.89

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.20	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.83	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	2.89	3.29

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	32303
科目名	ビジネス情報解析論 I
教員名	

①授業計画の達成度について  
 回帰分析、GISを用いた分析、アンケート調査といった、当初予定していた項目はすべて終わることができた。ただ難易度が高いという回答が多いことや、満足度が高いと言い難いことから、多くの解析方法を学ばせるより項目を削って、ひとつを丁寧に行うべきであったかと反省しているところである。

②授業の進め方について  
 エクセルなどのデータ解析に用いるソフトの扱いに不慣れな受講生のために、操作方法を詳細に記したレジュメを作成・配布する方法をとった。しかしながらレジュメに記載されたとおりに操作を行うことに精一杯で、何故、その操作を行うのかといったところを考えさせる時間的余裕が不足し結果的に、分析結果を解釈する力を育てる域に達しなかった。データ解析に必要な統計的知識や、解析ソフトの操作の知識が不足する受講生に対しては、詳細なレジュメを配布する方法ではなく、授業内容を削り、初歩から丁寧に授業を進める方法をとるべきであったと反省している。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 統計に関する知識が不十分な状態で、その応用であるデータ解析を説明することは非常に困難であると同時に、学生自身にも消化不良を起こさせることになる。回り道ではあるが、今後は最低限必要な統計値知識の説明に、より多くの時間を割くよう授業そのものを見直すことを検討したい。